

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌

Vol.54

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2020年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai



スポーツ文化専攻3年
大滝 知香 さん

Q 具体的な練習内容は、
先日も苦小牧白鳥王子アリーナにおいて代表候補による強化合宿が行われ、

Q 世界大会に向けて、日本代表候補に選ばれた現在の心境は。
うれしさとともに、心の中で闘志を燃やしています。高校1年から3年まで、日本代表候補として強化合宿には呼ばれていました。それからしばらくの間、代表から外れていましたが、頑張った結果を出し、大学3年生になって再び呼んでいただきました。2019年3月に開催された第29回ユニバーシアード冬季大会に出場し、銅メダルを獲得しましたが、今回招集されたのは、2020年3月31日から開催される女子世界選手権に向けたもので、日本代表として世界選手権に出場することが、現在最大の目標です。



氷上の格闘技といわれるアイスホッケー。激しいプレーが持ち味のこの競技で、世界に挑む学生がいます。大滝知香さんは、2020年世界選手権の日本代表候補に出され、現在、練習に明け暮れる毎日。男子顔負けの情熱で、その瞳は輝かしい未来を見据えています。

代表になることはもちろん、
目標はオリンピック出場です!!
女子アイスホッケー日本代表候補、
大滝知香さん(スポーツ文化専攻3年生)にインタビュー!!

Q そもそもアイスホッケーとの出会いは?
6歳の時、父にリンクの一般滑走に連れて行ってもらいました。滑り出したら楽しくて、その後毎週のように連れて行ってもらい、開園から閉園までいたほどです。通っているうちにスケートイングが上達し、それを見た地元の少年団から、「アイスホッケーをやってみない」と誘われました。面白そうだなと思って参加したら、すっかりハマってしまいました。当初は楽しみでやっていましたが、小学4年生の時に新人戦があつて、一つ下の男の子がレギュラーに選ばれ、私は選出されなかったんです。それがとても悔しくて、「一番になってやる」と気合が入りました。男の子に混じって練習や

Q 世界大会までハードな日々ですね。
今後は日本代表候補として練習や試合など、予定が詰まっています。私は北大アイスホッケー部にマネージャーとして所属し、さまざまなサポートをいただいています。アイスホッケー部の練習は、講義前の朝に行われていますが、学生なので勉強もありますし、勉強を終えたら実業団チームの練習があるので、苦小牧のリンクに通う毎日です。実業団チームとしての練習、日本代表としての練習、そして個々の練習と、練習量けの毎日ですが、それ位やらなければ世界では戦えないと思っています。

札幌に帰ってきたばかりです。今回の合宿では、今まで以上に厳しい練習に励んでいます。氷上練習ではスピードアップのほか、バックを取られないように体を張ってキープするポジショニングやパスワークなど、チームとしての連携プレーを強化しているところです。また、日本のウィークポイントである決定力、つまりシュートの精度アップにも努めています。私のポジションはフォワードなので、そこは特に重要ですね。リンク外では体の大きな外国人選手にも当たり負けしないように、フィジカル面を強化するためのウエイトトレーニングにも、継続して取り組んでいます。



中山 諄 さん



工藤 蒼大 さん

●飛躍の背景にあるもの
飛躍の年となった2019年。その要因を、中谷顧問はこう分析しています。「もともと本学はスポーツ推薦による入学制度を導入していましたが、その制度を活用しきれませんでした。しかし、3年ほど前から積極的な有力選手

札幌大学男子バドミントン部の快進撃が続いています。2019年に開催された第61回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦で優勝。これは17年ぶりの快挙となりました。続く第66回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会において、中山諄さん(英語専攻2年生)が男子シングルスで優勝。決勝戦の対戦相手は本学の須藤弘光さん(経営学専攻2年生)で、本学の学生によるワンツーフイニッシュとなりました。同大会での優勝は実に19年ぶりのこと。強さの理由を中谷顧問と、3名の部員にお聞きしました。

2019年度
秋季リーグ戦で優勝!
会長杯でシングルス優勝、
準優勝の快挙を達成!!
札幌大学男子バドミントン部

Q 試合を重ねるうちに、実力が認められ、私は女子では2代目となるキャプテンになりました。負けん気な性格は、アイスホッケーに向いているみたいですよ。(笑)
Q そして今は、世界を相手に戦っているわけですね。
日本は現在世界ランキング6位。今年度の世界選手権でランキングをキープできれば、予選なしでオリンピックに出場できるので、頑張つてランキングをキープすることが目標になっています。日本代表に選出されることは、私にとっては絶対条件で、すでに、その先のオリンピック出場を見据えています。

Q 最後にメッセージをお願いします。
現在、日本代表候補として練習に参加できるのは、周囲のサポートがあればこそ。大変感謝しています。応援していただいている皆さんへの恩返しは、代表になって試合で結果を出すこと。一人でも多くの方に試合をご覧いただき、応援していただければうれしいですね。今後の試合に期待しててください。応援よろしく願います。

Q 日本女子アイスホッケーは、スマイルジャパンと命名され、注目が集まっていますね。
そうですね。やはり、世界選手権やオリンピックで結果を出せば、マスコミに取り上げられ、もともとっと人気もアップすると思います。そうなれば競技人口が増え、選手層も厚くなるでしょうから、女子アイスホッケーの未来を切り開くためにも、ここで私が頑張りたいと思っています。

●勝ち続けることを目標に
「2018年度春季リーグにおいて、常勝チームと呼ばれる他大学に久しぶりに勝つことができた」と。これによって、自分たちも実力的には引けをとらないんだと自信を持つことができたと思うんです。それが大きな前進になりました」と中谷顧問。この時、主将を務めていた金山さんは、それでも次戦に向かう際に不安があったと言います。「実力が拮抗しているからこそ、少しでも気を抜けば相手に流れを持っていけるので、緊張感を持って試合に臨んでいました。強いチームに勝てたのは偶然ではなく、食らいついでという気持ちがあつたからだと思います」と振り返ります。そんな金山さんからバトンを受け、新たに主将に就任した中山諄さんは、

では、学生の自主性に任せています」とのこと。基礎体力の強化などトレーニング系や技術指導は監督に一任し、中谷顧問はメンタル面や練習環境の整備などに務め、サポートに徹してきたと言えます。ハード・ソフト両面の強化が飛躍の秘密のようです。

●意識改革で超えた壁
自主性に任せているということ、これまで主将を務めてきた金山樞斗さん(経済学専攻3年生)に、日頃の練習メニューについて聞きました。「部員全員で意見を出し合い、前主将から良いところは受け継ぎ、改善すべき点は改善して、練習メニューを決めています。顧問のおっしゃった通り、実力のある新入部員の加入により、質の高い練習が行えるようになりました」。中谷顧問は、「学生の自分である勉強を優先すると、部としての練習時間は週6日、1日2時間程度。その中で基礎体力を養い、シャトル練習もしているの、集中力を高めることがポイントですね。使えるコートは男女で4面。限られた時間、限られた環境でいかに効率の良い練習ができるか。工夫することによって、鍛えられた部分もありました」と、意識改革を強調しています。

では、学生の自主性に任せています」とのこと。基礎体力の強化などトレーニング系や技術指導は監督に一任し、中谷顧問はメンタル面や練習環境の整備などに務め、サポートに徹してきたと言えます。ハード・ソフト両面の強化が飛躍の秘密のようです。

CONTENTS

1面
女子アイスホッケー
日本代表候補
大滝知香
男子バドミントン部

2面
札幌大学企業研究会
就活直撃インタビュー
就職内定者レポート

3面
留学レポート
在校生の今

4面
令和元年度課外活動への
補助一覧
2020年度
キャンパスカレンダー
2020年度
札幌大学保護者懇談会
編集後記

●高いモチベーションで次戦へ
工藤蒼大さん(法学専攻1年生)も、ジュニア時代からバドミントンに打ち込んできた一人で、インターハイにも出場した実力派。工藤さんもまた、「気負うことなく、あくまで部活として楽しみながプレーしたい」と言います。それを聞いた中谷顧問は「気負うという点では、優勝したことで本学はディフェンディングチャンピオンとなりました。もちろん、リーグ戦では連覇したいと希望していますし、シングルスでもダブルスでも、上位を争う選手がいればいいなと思います。それがプレッシャーになってはいけないので、私はあくまで表面上は期待していない素振りをお願いします。(笑)」。しかし、顧問の思い以上に、部員全員のモチベーションは高いので、安心しているとのこと。主将となった中山さんは、「今後もリーグ戦優勝はもちろん、インカレの出場と、そこでの1勝を目標に頑張りますので、ご期待ください」と決意表明していました。

ね。今後は主将として、勝つための練習を促すのではなく、お手本ではありませんが、自ら楽しんで練習する姿を部員に見せて、引っ張っていきたいと思います」と、抱負を語っていました。



左から中山諄さん、工藤蒼大さん、金山樞斗さん、中谷顧問

北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会において優勝という栄誉に輝きました。中山さんは、「他大学との対戦には闘志を燃やしましたが、決勝では、同じ北大部員ということで、誇らしかったです

企業と学生のマッチング機会を支援しています

学生支援部 就職担当課長 笹川繁子

今年も企業の採用意欲の高さが表れている一年でした。本学においても就職希望者に対する内定率は90%を超える勢いで推移しており、道内外約500社以上の採用担当の方々に来訪いただきました。

来訪時には、企業の求める人材、入社後のキャリア形成、本学の内定実績など情報提供いただき、本学からは学びの特徴や学生の活動状況をお伝えしています。細かな情報共有が、入社後のミスマッチや早期離職を防ぐというメリットに繋がると考えているためです。

国内の人手不足を背景に「売り手市場」は続いておりますが、学生にとって就職活動は厳しく辛いものと映っているようです。企業選びには偏差値のような数値目安も無く、情報過多で取捨選択が困難な学生に対し、個人面談等において企業来訪で得た優良企業の情報を伝え、一緒に考える姿勢で支援しております。

自分なりの企業選びの目安を持つには、インターンシップが有用です。インターンシップは、社会と接することで自分自身のキャリアを考えるきっかけ作りを担っています。さらに受入企業からフィードバックを受けることで、自分の特性を客観的に理解することもできます。就職活動で重要な「自分を知る」「相手（業界、企業）を知る」ことが、インターンシップで得ることが可能です。インターンシップ派遣先情報は、学生支援課内の掲示板等で周知しております。

これからも学生が納得する進路実現に向けて、企業と学生とのマッチング機会を継続的に支援して参ります。個人面談や学内イベントの積極的な利用をご案内いたしますようお願いいたします。



就職活動いよいよスタート
「札幌大学企業研究会」開催

今年の就職戦線もいよいよ本格化し始めました。本年度も札幌大学では校内で会社説明会を開催いたしました。80社あまりの企業の参加があり、多くの学生が熱心に話に聞き入っていました。

●開催日／2020年2月26日～28日 計3日間
●場所／札幌大学2号館

就活直撃インタビュー

公務員になって、人を支える仕事が出来たいと思っています

「人の助けになりたい」という思いから、消防士や警察官を目指していましたが、札大で法学を学ぶうち、行政という立場から人を支える方法を知りました。今は、道職員を志望しています。北海道庁の環境生活部、もしくは教育委員会などで働けたら嬉しいですね。昨年夏に道庁のインターンシップに参加。希望の環境生活部の仕事を見聞し、現在、北海道が抱えているさまざまな問題を知ることができました。担当の方や他大学からインターンシップに参加している学生とも交流し、自分はまだまだ勉強不足だなと気づくことができたのは、大きな収穫でした。

今後、就職活動を控えている後輩の皆さんにアドバイスするとしたら、早くから情報収集や業界研究に着手することですね。公務員志望ならなおさらです。試験対策は早ければ早いほど有利になるでしょう。私自身も早くから目標を定め、人生設計も立てて活動してきました。それを夢ではなく、現実のものにしたいですね。

法学専攻3年 加藤 雅人さん

キャリアサポートセンターは、就活の心強い味方ですね

金融、保険業界を志望し、就職活動に励んでいます。すでに大手生保会社や証券会社のインターンシップに参加。生保では、ノルマではなく、目標達成を目指した成績表が張り出されており、これから社会人を目指す私にとって、身の引き締まる思いがしました。視野を広げるためにも、まだまだインターンシップには参加する予定です。一方、エントリートリーの書き方や、面接練習も重ねており、キャリアサポートセンターに添削、模擬面接をしていただいています。本当に心強い味方ですね。また、親しくしている先輩も、頼りになる存在です。身近な就活経験者ですから、いつもの確なアドバイスをいただいています。

1年生や2年生の皆さんには、今から自己分析や資格取得などに取り組みむことをお勧めします。3年生になると本格的な就活が始まるので、意外と時間が取れないことに、私自身も気が付きました。今は後悔のない、笑顔で終えられる就活を展開したいと思っています。

経済学専攻3年 守山 乃々香さん

就職内定者リポート

ポイントとは、全力で打ち込める何かを見つけること

私は、3年生の10月半ばから合同説明会に参加し就職活動を始めました。就職活動を始めた頃は、将来について深く考えておらず、まずは説明会に足を運んで企業を知るところから始めようと思い、50社以上の企業のお話を聞きました。

大学ではよさこいサークルの活動に力を入れていました。毎年6月に行われるよさこいソーラン祭りに向け、私は振り班長（振り付けやイメージを部員に伝える係）を務め、練習メニューを考え実際に指揮をとっていました。1000人規模のチームメイトをまとめるのは大変でしたが、この経験を通して仲間の大切さの一つの目標に向かって努力するやりがい・楽しさを学ぶことができました。

北海道を元気にすることをよさこいで実感し、それをきっかけに企業分析や自己分析をしていく中で、「北海道に貢献したい」、「やりがいを持ち続けながら長く働きたい」という二つを軸に企業を絞りました。

そして私が就職活動で最も大事だと思ったことは、準備がとても大切だということです。この企業の面接でも全力を出し切るような心がけていました。後になって企業研究が足りていなかったと感じる場面が時々ありました。内定を頂いた企業の面接時は、自分で調べただけでなく就職担当の方々と親など色々な人から企業の情報を貰い、面接の練習に付き合ってもらうなど後悔がないよう準備をし、自信を持った状態で面接に臨むことができました。内定を頂いたときは、これまでにない達成感がありました。

学生の皆さんに心がけてほしいことは全力で打ち込める何かを見つけることです。就職活動をする以前に話せる題材がないと面接では他の学生と勝負にならないからです。何事もまずは続けてやってみる。そういうことを習慣にすることで自ずと就活生になっても興味があってもとりあえず説明会や講座に行ってみようという気持ちになると思います。精一杯学生生活を乐しみながら、自分の未来のためにたくさん挑戦してみてください。

魅力いっぱい、空港で働きたいと思いました

今回新千歳空港ターミナルビルディング株式会社内定という形だったのですが、空港の民営化にともない新千歳空港ターミナルビルディング株式会社から北海道空港株式会社への内定ということになりました。今回この内定に至るまでの過程をいくつか紹介していこうと思います。

まず初めに自分が就職活動をするにあたって、民間企業を考えたいきっかけについて紹介します。私自身、大学入学時は教員を目指す部活と両立しながら大学生活を送っていました。2年生からは教職のカリキュラムの勉強に励んでいました。3年生の学年末頃からそろそろ就職について少し考えていかなければならない時期に差し掛かり、自分が本当に教員になりたいのかをこれまでの授業を振り返り、今一度考え直しました。その時自分が将来、教壇に立ち授業をしている姿がどうしても想像することができませんでした。自分が目指していたかたはいい場所ではなかったかと思う、すぐに民間企業への就職を考えましたが、自分が教職のカリキュラムをとったことを無駄に感じることは1度も無く、教職のカリキュラムをもって知識をつけたことでむしろ就職活動が優位に働くのではないかと思います、この経験を就職活動では前面に押し出し、自分の武器として活動に取り組みました。教職で得た人前で話す力や、要点をまとめ自分の言葉で話すことは実際に就職活動中に何度か褒められた経験もあります。このように自分にとってプラスになる出来事がとても多かったのです。

次になぜ新千歳空港ターミナルビルディング株式会社に就職を希望したのかについて紹介します。「北海道の玄関口」として知られる、新千歳空港は北海道の魅力が一番早く伝えられる場所であり、たくさんの方の魅力が詰まった場所です。そこで働くことで自分が生まれ育った大好きな北海道に恩返しをしたい。そんな想いから就職を希望しました。

以上のことを踏まえて、今考え直してみると自分のやりたいことを早い段階で決めることが重要なではなく、自分が将来何をしたいのかを想像して、何を目的としてその会社で働いていくのかがとても重要なのだと思います。

来年からは何事にも目標をもって取り組み、新社会人として今まで以上に頑張りたいと思います。

スポーツ文化専攻4年 中島 航平さん
【内定先：北海道空港(株)】

経済学専攻4年 斎藤 亜美さん
【内定先：ナラサキスタックス(株)】

留学リポート

アメリカ・ネブラスカ州立大学へ留学

英語専攻3年
田中 日香里さん

私は2018年8月から約1年間、アメリカの中西部に位置するネブラスカ州という場所でアメリカの多様な文化に触れながら英語を学ぶ、というとても貴重な経験をしました。大学名はネブラスカ州立大学と言い、州の中に3つのキャンパスを持つ大学です。私は今回その3校の中の1つであるカーニイ校というキャンパスに派遣されました。

現地に到着してまず驚いたのが、あたり一面に広がる農場や田畑の規模の大きさでした。日本の田園風景とは比にならないほどの敷地面積を誇るトウモロコシ畑や畜産農場（ネブラスカ州では主に牛）は、アメリカという国を強く印象付ける光景となりました。

キャンパスに到着し自分が住む予定の寮に向かうと、そこはまさに私がずっと想像していた通りの空間があり、これからどんな生活が始まるのだろうかという期待が膨らみました。カーニイ校のキャンパス内にはいくつかの寮があり、それぞれの部屋で違いなどはありませんが、どの寮にも必ずRA（レジデントアシスタント）と呼ばれる学生たちが住んでいます。彼ら



仲良しメンバーとの集合写真



グラスブローイングの授業にて

はその寮に住む学生たちが困った時や、分からない事があった時に助けてくれるという言わば住人のお手本であり、さらには寮内で火災が発生するなどの緊急時には率先して住人たちに呼びかけ、避難させるという役割も担っています。そしてさらに驚いたことは、住人の一人一人と個人的に面談して何か心配事や質問等はあるか、という精神面のケアにも力を入れていたことです。現在、日本の大学でもこのようなRAというシステムは広まりつつあると聞きますが、ここまで多方面で活躍し、なおかつ責任感を持った学生たちはこのアメリカという国ならではの感じました。

また、授業面に関しても驚いたことがあります。私が留学していたこの大学は、他のアメリカの大学と比べると規模はそこまで大きくはないそうですが、日本の大学と比べると専攻の種類がとて幅広く、さらに副専攻まで選ぶことができるため、専攻選別に時間がかかってしまう学生が多くなってしまうのではないかと印象を受けました。しかし、それはつまり自分の興味・関心がある授業や、自分が目指す職業になるための分野を専門的に学ぶことができるということであり、学生にとってはとても良い環境が揃っていました。私も、普段日本ではめったに触れることのできない、グラスブローウイング（吹きガラス）に関する技術を実践的に学ぶことができる授業を受講しました。この授業はなんと一回一回が2時間半ほどある授業となっており、そのような長時間の授業を今まで受けたことが無かった私にとって、とても刺激的な経験のひとつとなり

ました。さらにその授業の間は常に工房の中で、ファーネスやグロリーホールと呼ばれるいくつかの高温炉の付近で作業しなければならなかったため、あの夏の炎天下の中での作業はなかなか忘れることのできないものとなりました。

この留学に行くまで海外へ旅行に出かけたり、ましてや日本の外で長期的な生活をするという経験が全く無かった私にとって、この留学は不安と緊張の連続でした。しかし、そんな状況の中に身を置くことによって新たに覚えてくるものや、自分の知らなかった自身のもうひとつの一面を知ることができ、得られるものが沢山あるということをこの留学生活を通して改めて学ぶことができました。それゆえ、大学生の皆さんにはもっと大学という機関をフルに利用してもらいたいと強く思いました。なぜなら、そうすることによって、特に国際的な交流を深めたいという方にとっては、活動の幅がぐっと広がるだけでなく、学ぶことの楽しさをより実感できるのではないかとと思うからです。札幌大学は、少なくとも札幌の他大学よりもそのチャンスが豊富にある大学だと思っています。これからアメリカのみならず、他の国への海外留学を目指している方、そしてその第一歩を踏み出したいという方には是非、札幌大学インターコミュニケーションセンター（SUICC）に足を運んでいただけたらと思います。



学内で開催されたイベントにて

部長を務める高田菜月さん（法学専攻3年生）に聞く、漫画部の活動状況と未来！

漫画は今や日本を代表するサブカルチャー。楽しみながら、それに相應しいレベルアップを目指していきたいですね。

・文化連合会 札幌大学漫画部



「ツコミ」と、年に一度の作品集『スケアクロウ』の発刊が主な活動です。活動の集大成ともいべき『スケアクロウ』は、大学祭で販売も行っており、毎年好評を得ているとのこと。部長の高田菜月さんによると、「私が入部する以前には、行政機関のホームページや、公共団体のパンフレットにイラストを提供したこともあったようです」と、先輩の輝かしい実績も強調していました。

個性的な作品ばかりですので、新たな発表の場を設けたいですね

毎日部室に集まって、執筆や作品評価など、楽しい時間を過ごしています

美少女キャラや凛々しいイケメンなど、色あざやかなイラストをスラスラと描き出す部員たち。札幌大学漫画部はクオリティの高い作品を生み出し、精力的な活動を展開しています。部員は現在7名。毎日のように部室に集まり、創作活動に当たることはもちろん、それぞれが気になっている作品や作家について熱く語り合うなど、楽しくも充実した部活動を行なっています。具体的には、2カ月に一度の割合で発刊している会報誌『サ



法学専攻3年 漫画部 部長 高田 菜月 さん

ひとくちに「漫画を描く」と言っても、その方法はさまざま。もちろん、紙にインクとペンで描くオーソドックスな手法は不変ですが、現代では、パソコンやタブレット端末にペンタブで描き出すデジタルな手法もあり、アプリケーションもさまざまとなつていきます。「うちの部員もアナログにこだわる人、デジタルを巧みに操る人など、一人ひとり違った手法、表現方法で作品を描いています。それだけに個性的な作品が揃っています。今はまだ雑談程度の話ですが、部員の間では学内だけでなく、学外でも展示や冊子の販売会ができたらいねと話し合っています。」と高田さんは言います。個性豊かで、完成度の高い作品を次々に生み出していることもあって、札幌大学漫画部では、新たな発表の場、機会を模索しているそうですが、今は学生の自分である勉強を優先しているうえに、部活動として取り組んでいる定期刊行物の原稿制作に日々追われているため、なかなか具体的な計画までに至らないのが現状のようです。



今後ますます盛り上がっていく分野、次回作にご期待ください！

「私は4年生となり、部長を次の世代にバトンタッチしますが、後輩のためにも在学中に新たな発表会、展示会への足がかりだけでも付けたいと思っています。漫画は今や日本を代表するサブカルチャーのひとつ。今後ますます盛り上がっていく分野ですから、札幌大学漫画部もその一翼を担える活躍をしていきたいですね」と、高田さんは力強く語っていました。しかし、部員の皆さんはプロを目指していないそうです。「あくまでも漫画は楽しむものと割り切っている人ばかり。プロになると大変なことがありそうじゃないですか。（笑）みんな、一生の趣味として末長く楽しんでいきたいと考えています。」

「好きこそモノの上手なれ」という諺にもある通り、新たな発表の機会、場を求め、ますますレベルアップを目指す漫画部の、今後の作品に期待したいものです。

令和元年度 課外活動への補助一覧

令和2年2月現在

交付団体名	大 会 名	補助対象期間	支出金額
弓道部	第 67 回全日本学生弓道選手権大会 第 50 回全日本学生弓道遠の選手権大会	8/13～8/15	63,000
剣道部	第 67 回全日本学生剣道選手権大会 第 53 回全日本女子学生剣道選手権大会 第 38 回全日本女子学生剣道優勝大会	6/27～6/30 11/9～11/11	48,000 63,000
硬式庭球部	全日本学生テニス選手権大会(男子 87 回/女子 63 回) 2019 年度全日本大学対抗テニス王座決定試合	8/6～8/8、 8/11～8/17 10/8～10/10	120,000 90,000
サッカー部	アットホームカップ 2019 第 17 回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル	11/25～12/1	504,000
女子サッカー部	第 2 回 Precious Ladies Cup in 時の栖 第 28 回全日本大学女子サッカー選手権大会	5/1～5/4 12/22～12/26	312,000 375,000
柔道部	2019 年度全日本学生柔道優勝大会 2019 年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 2019 年度全日本学生柔道体重別選手権大会 2019 年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会 第 32 回全国体育系学生柔道体重別選手権大会	6/21～6/23 9/13～9/15 9/26～9/29 10/18～10/21 2/21～2/24	117,000 18,000 156,000 180,000 180,000
準硬式野球部	第 37 回全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会	11/14～11/18	60,000
スケート部	第 13 回東日本学生フィギュアスケート選手権大会兼 第 92 回日本学生氷上競技選手権大会選考競技会 (フィギュア部門) 第 20 回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会（アイスホッケー部門） 2019 女子トレーニングキャンプ（サハリン）（アイスホッケー部門） 第 92 回日本学生氷上競技選手権大会ファーストディビジョン（アイスホッケー部門）	10/11～10/13 9/5～9/8 12/18～12/23 12/23～12/26	9,000 192,000 18,000 186,000
卓球部	第 89 回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部） 第 86 回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部） 2019（令和元年度）第 16 回全日本学生選抜卓球選手権大会 第 59 回大阪国際招待卓球選手権大会（全国オープン）	7/4～7/6 10/24～10/27 11/22～11/24 2/13～2/15	144,000 156,000 18,000 18,000
女子バレーボール部	2019 年度第 20 回全日本大学バレーボール学連女子選抜対抗戦及び 2019 年度全日本大学女子バレーボール選抜合宿	12/20～12/24	45,000
男子バレーボール部	第 72 回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 ミキブレンススーパーカレッジバレー 2019	11/25～11/27	171,000
女子バドミントン部	第 70 回全日本学生バドミントン選手権大会	10/11～10/14	60,000
男子バドミントン部	第 70 回全日本学生バドミントン選手権大会	10/13～10/16	48,000
チアリーディング部	第 31 回全日本学生チアリーディング選手権大会	12/13～12/15	27,000
ハンドボール部	アジア U-22 選手権 令和元年度東日本学生ハンドボール選手権大会 高松宮記念杯男子第 62 回・女子第 55 回 令和元年度全日本学生ハンドボール選手権大会	7/13、 7/16～7/18、 7/21～7/23 8/11～8/15 11/7～11/9	21,000 315,000 180,000
ラグビー部	第 70 回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	1/1～1/3	234,000
陸上競技部	2019 日本学生陸上競技個人選手権大会 天皇賜盃第 88 回日本学生陸上競技対校選手権大会 第 35 回 U20 日本陸上競技選手権大会 日本グランプリシリーズ北九州大会第 41 回北九州陸上カーニバル	6/6～6/9 9/10～9/15 10/17～10/20 10/25～10/28	24,000 342,000 21,000 84,000
X-SPORTS 部	全日本アマチュア・スケートボード選手権（ストリートスタイル）	10/25～10/27	27,000
木元 聖大 (英語専攻 1 年)	褒賞金 (2019FIS フリースタイル&スノーボードジュニア選手権 フリースタイル・モーグル)	3/28～4/13	30,000
	小計		4,626,000

交付団体名	文化系サークル補助金	補助対象期間	支出金額
アビーロード音楽研究部	ライブ		50,000
アマチュア無線部	道内のアマチュア無線家との交流		50,000
映画研究会	映画の自主制作		50,000
演劇研究会劇団ダイナマイト	学生対校演劇祭		50,000
軽音楽部	ライブ		50,000
民俗音楽研究部	定期演奏会		50,000
	小計		300,000
補助金支出合計			4,926,000

編集後記

穏やかな陽ざしに春の訪れを感じる季節となりました。3 月のよき日に卒業、進学、就職の皆様にはお祝い申し上げます。新しい世界へ大きくはばたくことを願っております。

「後援会だより 54 号」を発行することができました。今号では、近い将来札幌大学からオリンピック選手が誕生するかも知れません。女子アイスホッケー日本代表候補大滝知香さんのお話を聞くことができました。

また、静なる活動を続けている文化部から「漫画部」の活動を紹介していただきました。

「マンガ」は今外国の方々の中には「マンガ」を媒体にして日本語を学ぶきっかけになった方も少なくありません。発表の場では、声をかけたいと思います。

就職活動において、積極的に自己分析をし説明会に足を運び粘り強く取り組んでいる様子を伺うことができました。学生は、勉学、運動、就職とがんばっています。保護者の皆様と共に応援したいものです。

現在、日本を始め世界中で新型コロナウイルスが蔓延している状況です。これに伴い医療、教育、経済、日常生活に多大な影響を及ぼしています。

1 日も早い終息を願っています。

54 号発行にあたり取材にご協力の皆様ありがとうございました。 (M. M)

2020 年度 キャンパスカレンダー

2020.4～2021.3

4

4 日（土）入学式（中止）
13 日（月）春学期ガイダンス・オリエンテーション（～4/17）
20 日（月）春学期授業（～8/8）
29 日（水）休日授業実施日

5

4 日（月）休日授業実施日（～5/6）
6 日（水）開学記念日
9 日（土）第 1 回オープンキャンパス

6

21 日（日）第 2 回オープンキャンパス

7

23 日（木）休日授業実施日（～7/24）
26 日（日）第 3 回オープンキャンパス

8

9 日（日）夏期休業（～9/16）

9

1 日（火）春学期卒業発表
7 日（月）秋学期集中講義（～9/12）
17 日（木）秋学期ガイダンス・オリエンテーション（～9/18）
19 日（土）春学期卒業証書・学位記授与式
23 日（水）秋学期授業（～2/2）
26 日（土）第 4 回オープンキャンパス

10

17 日（土）総合型選抜自己推薦入学試験
総合型入学試験

11

21 日（土）学校推薦型入学試験（～11/22）
総合型選抜自己推薦入学試験 A 日程（～11/22）
23 日（月）休日授業実施日

12

12 日（土）総合型選抜自己推薦入学試験 B 日程
学校推薦型入学試験
24 日（木）冬期休業（～1/6）

1

20 日（水）秋学期補講日（～1/22）

2

5 日（金）一般入学試験（A 日程）

3

1 日（月）秋学期卒業発表
6 日（土）一般入学試験（B 日程）
総合型入学試験 C 日程
13 日（土）第 5 回オープンキャンパス
20 日（土）秋学期卒業証書・学位記授与式
23 日（火）総合型入学試験 D 日程



入学式



オープンキャンパス



オープンキャンパス



卒業式

2020年度 札幌大学保護者懇談会

保護者懇談会は、学生の就職状況、修学状況、学生生活等についてご説明することにより、大学へのご理解を深めていただくことを目的に、札幌会場をはじめ、道内 7 会場及び青森において開催いたします。

改めて開催案内をお送りいたしますので、大学における様々な施策・活動へのご理解をいただくため、是非ともご出席くださいますようよろしくお願いいたします。



会長あいさつ



個人面談の様子

開催地	実施会場	開催月日
札 幌	札幌大学	6／ 6（土）
苫小牧	グランドホテルニュー王子	9／ 3（木）
青 森	ホテル JAL シティ青森	9／ 4（金）
函 館	函館国際ホテル	9／ 5（土）
旭 川	アートホテル旭川	9／10（木）
北 見	ホテルロイヤル北見	9／11（金）
釧 路	ANA クラウンプラザホテル釧路	9／12（土）
帯 広	ホテルグランテラス帯広	9／13（日）
札 幌	札幌大学	9／26（土）